

ワークショップ研究会報告

新潟大学

大学教育開発研究センター 加藤かおり

平成15年11月27日、12月18日の2回にわたり、近年、FDや授業改善の方策として他大学などにおいても導入が試みられているワークショップの基礎について、すでにまちづくりなどの場で多くの実践経験をもつ地域の専門家から学ぶことを目的として、ワークショップについての公開研究会を行った。実施場所は、大教センターのオープン会議室、時間は両日とも13時から16時、講師として、NPO法人まちづくり学校の理事寺島義雄氏を迎えて実施した。

第1回目は、「ワークショップの基礎について」をテーマに、まず講師から、ワークショップとは何か、ファシリテーターの役割とは何かについての説明を受けた。

次に、自己表現のためのゲームなどのワークショップミニ体験を通して、ファシリテーターの呼吸、ワークショップの空気を体験的に学んだ。

第2回目は、「ワークショップの可能性について」をテーマに、まず自己対峙のためのワークショップ体験をした。ワークショップというと、KJ法を中心したカード集類の方法や、小学校の総合学習、まちづくりという場面においてクローズアップされることが多いが、そのほかにもワークショップには可能性があることについて、講師より説明があった。その後、大学教育やFDにおけるワークショップの可能性や有効性について、意見交換を行った。